



品種は時代の要請に応じて育成されてきた

年代	時代背景	選定の目的	選定品種
昭10年代	輸出の拡充強化	栄養系品種の増殖による多収 量化、高品質化	やぶきた、こやにし、 ちくろう等
昭30年代前半	輸出再興、国内需要へ移行	紅茶用品種の採用	べにほまれ、からべに、 ただにしき
昭30年代後半	景気高騰、洋食化	洋食に対応した品種の採用	ふじみどり、べにふじ、 はつもみじ
昭40年代	国内需要の急増、製茶機械の大型化	多収性、早晩性品種、高品質化	くらすわ、かなやみどり、 おいわせ
昭50、60年代	需要の硬直化、凍霜害の多発	耐寒性品種の採用	さやまかおり、おくひかり
平成時代	バブルの崩壊、多様化	香味に特徴ある品種の採用	香駿、つゆひかり

香駿12ha、つゆひかり139ha

香駿の育成経過と特性

- 1970(昭45) 交配(くらすわ(1967)×かなやみどり(1970))
- 1978(昭53) 栄養系比較試験 系統名:70-11-6
- 1987(昭62) 奨励品種決定試験
- 1995(平7) 育成
- 1996(平8) 種苗法登録出願 品種名:香駿



育成時の特性

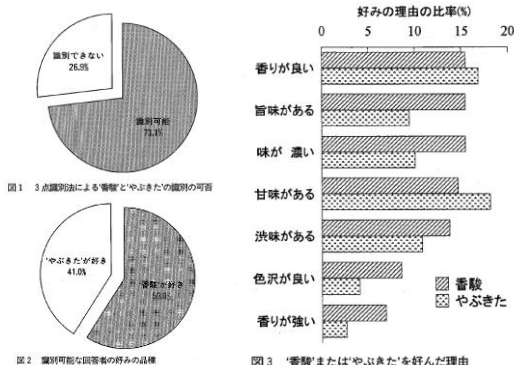
さわやかで持続性のある香りが強く、収量性は幼木期には極多、成園でも多収を示すとともに、芽数が多く、芽摘みが優れる

命名の由来

香駿は、駿河の国で育成され、やぶきたとは異なる特徴ある香りが消費者ニーズに合致し、香味にポイントをおいたブランド品になることを意味し命名された。



香駿はやぶきたとは明らかに異なる



香駿育成時の背景

時代の要請

- ☆やぶきたを片親とし、やぶきたの早晩性が望まれた
- ☆やぶきたの香味を超えるやぶきたの育成
- ☆品質はやぶきた至上主義。他は異味、異臭
- ☆機械化栽培体系には芽重型

香駿育成時の課題

- ? やぶきたと同時期中生種で共同工場への導入は難しい
- ? 芽数型で芽が小さく、硬化しやすく、機械化栽培に適応しにくい
- ? うま味にかけ、渋みが強い
- ? 香りが強く、やぶきたとは全く異なる

品種組合せ → ブランド化
共同工場 → 自園自製自販
マス市場 → ニッチ市場

香駿は釜炒り適正も高い

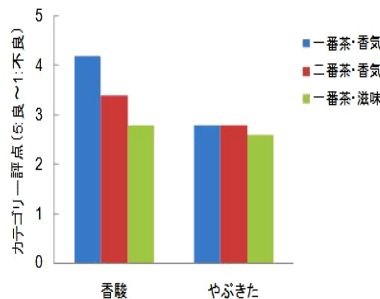


図1 釜炒り製法による荒茶の官能検査結果 (2006年、検査者の平均値)

香駿は萎凋香も発揚しやすい

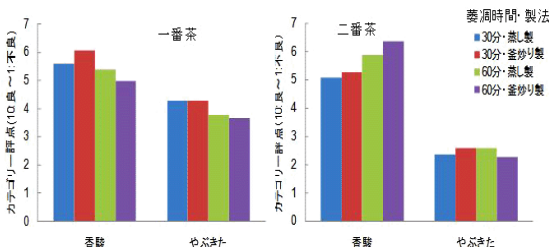


図2 萎凋時間及び製法の違いによる萎凋香の評価(2008年、検査者の平均値)

香駿は萎凋香も発揚しやすい

「香駿」の萎凋香の特徴は、検査者の概評によるとバラ様の甘い花香、ミルキー、フルーティー等であり、また、萎凋により香気が高まる傾向である

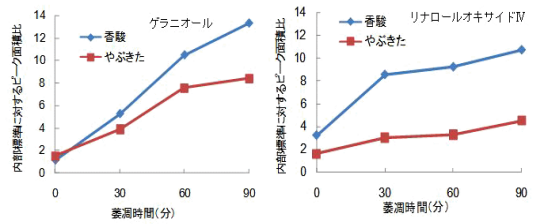


図3 萎凋時間の違いによる香気成分の変化(2007年一番茶、釜炒り製)

グラニオール: 新鮮なバラの花香
リナロールオキサイドIV: なまこ様の香り

品種が替わる要因

- ① 社会・経済的ニーズの変化
- ② 需要ニーズの変化
- ③ 新品種の登場
- ④ 生産様式の変化
- ⑤ 生産環境の変化



品種普及の変遷(茶の場合)

早出し、品質向上(在来種からの選抜) ⇒ 生産力増強(多収性品種)
⇒ 輸出用茶種への対応(紅茶用品種) ⇒ 多収性・生産安定(耐寒性品種) ⇒ 高品質(やぶきた後代) ⇒ 各種需要に対応、機能性

生産振興に寄与する品種 → 需要に応えられる品種 → 新しい時代を切り拓く品種

品種活用の今後の展開

これからの品種に求められる形質は？

構造の変化に対応して

Keyword;

- ◎ グローバル化、
- ◎ 少子高齢化、
- ◎ サービス産業社会化、
- ◎ 自然健康志向化、
- ◎ 価値観・生活様式の多様化、
- ◎ 女性の社会進出化、
- ◎ 温暖化、
- ◎ 低炭素社会化、
- ◎ 自然循環機能重視化
- ◎ その他

需要ニーズに応えられる品種

- ★ 世界に通用する香味を持つ品種
- ★ 刺激の少ない低カフェイン品種
- ★ 機能性が強化された品種
- ★ 低コスト対応型超多収品種
- ★ 個性的な香味特性を持つ品種
- ★ 各種需要対応型(茶種、飲食品素材など)品種
- ★ 安定生産可能な品種
- ★ ストレス耐性品種
- ★ 少肥適応型品種
- ★ その他

品種の普及方法は？

新品種は生まれた子供。育てるのは現場。成人して社会貢献

成熟化産業では、現状の生産振興よりも
需要のニーズに沿った新生産方式が必要

当面の課題

- ★ 育種側では、新しい遺伝子の導入・活用
- ★ 世の中のニーズ・ウオッチの推測
- ★ 行政側では、新改種への指導・補助
- ★ 消費へのマーケティング力の向上
- ★ 生産者・流通業者はブランド力の強化

